令和５年度　第７１回北信越高等学校定時制通信制総合体育大会実施要項

1　主　催　　北信越高等学校体育連盟　　富山県高等学校体育連盟
全国高等学校定時制通信制教育振興会北信越地区協議会

2　共　催　　富山県教育委員会　　富山市教育委員会　　(公財) 富山県スポーツ協会

3　後　援　　富山市　北日本新聞社

4　主　管　　富山県高等学校体育連盟　　富山県高等学校体育連盟定通制専門部
富山県高等学校定時制通信制教育振興会

5　期　日　　令和5年１０月２１日（土）～２２日（日）

6　会　場

専門委員長会議	富山市総合体育館 10:30～11:00		
選手・役員集合	各競技会場へ11:00までに集合　＊柔道・剣道は10:30集合		
開始式・閉会式	各競技会場（開始式は11:45より開始）		
競技別監督者会議	各競技会場の指示に従う		
開催競技・会場	バスケットボール	富山県総合体育センター中アリーナ	2面
	バレーボール	富山市総合体育館第2アリーナ	2面
	バドミントン	富山市総合体育館第1アリーナ	12面
	卓球	富山県総合体育センター大アリーナ	12面
	ソフトテニス	岩瀬スポーツ公園テニス場	8面
	柔道	県営富山武道館	2面
	剣道	県営富山武道館	2面
	軟式野球	県営富山野球場	1面

＊総合開会式は行わない。各会場での開始式のみ

7　日　程

期日	時間	内容	会場
10月21日(土)	10:30 ～ 11:00	専門委員長会議	富山市総合体育館
	12:00 ～ 18:00	競技	各競技会場
10月22日(日)	8:30 ～ 14:30	競技（競技終了後、閉会式）	
	15:00	全日程終了	

8　参加資格
（1）各競技の全国大会参加資格に準ずる。
（2）北信越高等学校定時制・通信制課程の在学生で、年齢・学年は問わない。
（3）一人１競技とし、チームの編成は、県または学校単位とする。
（4）全国高等学校総合体育大会（予選会を含む）出場者は、同年度本大会に出場できない。
（5）同一生徒の出場は同一競技４回までとする。

9　競技別競技方法
（1）団体戦は各競技、各県１代表とする。
（2）各競技において順位を決定する。(決定方法については各競技細則による)

【軟式野球】

（1）　競技規則は当該年度公認野球規則による。細則・申し合わせは別に定める。
（2）　本大会は、７回戦とし５回終了以降で７点以上の差のあるときはコールドゲームとする。
但し５回終了以降で１時間３０分を超えている場合は新しいイニングに入らない。
勝敗が決しない場合は抽選とする。
（3）　出場チーム数は、各県１チームとし、トーナメント戦とする。
（4）　登録人数は１チーム、引率責任者１名、監督１名、コーチ１名、アシスタントコーチ１名、マネージャー１名、選手１８名までとする（女子の出場も認める）。
（5）　試合球は「ＴＯＰボール」Ｍ号を使用する。
（6）　雨天時の競技実施の可否は競技委員長、審判長等で協議のうえ決定する。
（7）　競技方法は出場チーム数により下記の通り行う。
①　５チームの場合、１日目に１回戦１試合・準決勝１試合を行う。２日目に準決勝１試合、決勝・４～５位決定戦を行う。
②　４チームの場合、１日目は準決勝２試合を行い、２日目に決勝、３～４位決定戦を行う。
③　３チームの場合、リーグ戦とし、１日目は１試合、２日目は２試合行う。

【バスケットボール】

（1）　競技規則は現行の（公財）日本バスケットボール協会競技規則による。（全国大会に準ずる）
但し、競技時間は各１０分間のクォーター制とし、第１と第２クォーター、第３と第４クォーターの間に各２分間、第２と第３クォーターの間に１０分間の休憩を入れる。
（１０－２分休－１０・１０分休・１０－２分休－１０）
（2）　出場チーム数は、各県男女、各１チームとし、トーナメント戦とする。また、順位決定戦を行う。
（3）　登録人数は１チーム、引率責任者１名、監督１名、コーチ１名、アシスタントコーチ１名、マネージャー１名、選手１５名までとする。
（4）　ユニフォームは規則に定められたものとする。濃淡２色を用意し、共に番号は0、００及び１～９９を用いる。
（5）　組み合わせ左側または番号の若いチームがオフィシャル席に向かって右側のベンチとし、原則として淡色のユニフォームを着用する。
（6）　試合球は検定球とする。主催者で準備する。
（7）　競技方法は出場チーム数により下記の通り行う。
①５チームの場合、トーナメント戦とする。１日目は１回戦・準決勝を行う。
２日目に、決勝・３位決定戦を行う。
②４チームの場合、トーナメント戦とする。１日目は準決勝２試合を行う。
２日目に決勝・３位決定戦を行う。
③３チームの場合、リーグ戦とし、１日目は２試合、２日目に１試合行う。

【バレーボール】

（1）　競技規則は当該年度（公財）日本バレーボール協会６人制競技規則による。ただし、ネットの高さは男子２ｍ３５㎝、女子２ｍ１５㎝とする。全試合３セットマッチで行う。
（2）　出場チーム数は、各県男女各１チームとし、出場チームが４チーム以上の場合トーナメント戦、３チーム以下の場合リーグ戦とする。
（3）　登録人数は１チーム、引率責任者１名、監督１名、コーチ１名、アシスタントコーチ１名、マネージャー１名、選手１４名までとする。（１２名の場合：リベロ０～２名、１３名以上の場合：リベロ２名を入れること。）
（4）　ユニフォーム、監督章、コーチ章、キャプテン章、マネージャー章は規則に定めるものを着用する。
ユニフォームは統一し、１～１４の一連番号とすることが望ましい。
（5）　試合が連続する場合には、１５分以上２０分以内の休憩をとる。
（6）　試合球は検定球とし、主催者で準備する。
使用球は、今年度の全国高校定時制通信制バレーボール大会に準ずる。

＜令和５年度＞・・・女子ミカサ（Ｖ３００Ｗ）、男子モルテン（Ｖ５Ｍ５０００）

（7）　競技方法は出場チーム数により下記の通り行う。

①５チームの場合、トーナメント戦とする。１日目は１回戦・準決勝を行う。
２日目に、決勝・３位決定戦を行う。

②４チームの場合、トーナメント戦とする。１日目は準決勝２試合を行う。
２日目に決勝・３位決定戦を行う。

③３チームの場合、リーグ戦とし、１日目は２試合、２日目に１試合行う。

【バドミントン】

（1）　競技規則は現行の（公財）日本バドミントン協会競技規則ならびに同大会運営規程による。

（2）　団体戦出場チーム数は、各県男女、各１チームとし、リーグ戦とする。また、試合は必ず最終試合まで行うものとする。

（3）　団体戦登録人数は１チーム、引率責任者１名、監督１名、コーチ１名、アシスタントコーチ１名、マネージャー１名、選手５～９名で編成する。団体戦の順序は男女とも、複１・複２・単１・単２・単３で実施する。単・複の重複はできない。人数が７名に満たない場合、シングルス・ダブルスの最終試合より棄権とする。また、棄権はオーダー提出前に大会本部と対戦チームに報告され承認される。

①　６名での出場の場合、単３を棄権とする。

②　５名での出場の場合、複２を棄権とする。

（4）　選手７名未満のチーム同士の対戦において、勝ち試合数が２対２の場合、引き分けとする。

（5）　団体戦については得点は男女とも１５点３ゲームマッチで行う。但し得点が１４点オールになった場合、２点差の得点をしたサイド、更に２０点オールになった場合、２１点目の得点をしたサイドがそのゲームの勝者となる。

個人戦は１回戦、２回戦については、１５点３ゲームマッチで行う。３回戦以降は男女とも２１点３ゲームマッチで行う。但し得点が２０点オールになった場合、２点差の得点をしたサイド、更に２４点オールになった場合、２５点目の得点をしたサイドがそのゲームの勝者となる。

（6）　選手の服装は（公財）日本バドミントン協会審査合格品（上下）を着用しなければならない。合格品を調達できない場合は、上着については、白無地のポロシャツを認める。選手は背中にゼッケンをつける。
（Ａ４程度の白布に、黒または濃紺で県名、県名・学校名、学校名・氏名のいずれかを記入）

（7）　使用シャトルは（公財）日本バドミントン協会検定合格球とする。主催者が準備する。

（8）　進行上の都合により団体戦、個人戦において連続試合となる場合は、１０分間の休憩時間を与える。

（9）　各競技において必ず順位を決定する。

団体戦（リーグ戦）では

①　勝ち点の合計が多いチームをより上位とする。
※勝ち点＝勝利：３点、引き分け：１点、敗北：０点、棄権：-１点

②　勝点合計が２チーム以上同点の場合は、取得マッチ（試合）率の高いチームを上位とする。

③　さらに同数の場合には、取得ゲーム率の高いほうを上位とする。

④　さらに同数の場合は、全試合の取得ポイント総数と喪失ポイント総数を集計し、取得ポイント率が高いほうのチームを上位とする。

⑤　前項でも決まらない場合は運営委員会が判断する。

（１０）１日目は団体戦、２日目は個人戦とする。

【卓　球】

（1）競技規則は現行の（公財）日本卓球協会競技規則による。（タイムアウト制は適用しない）

（2）団体戦の出場チーム数は、男女各１チームとし、リーグ戦とする。また、１試合目は必ず最終試合まで行い、２試合目以降は勝敗が決する試合まで行う。

（3）　団体戦登録人数は１チーム、引率責任者１名、監督１名、コーチ１名、アシスタントコーチ１名、マネージャー１名、選手は４～８名とする。試合はダブルスを中央に置く４Ｓ１Ｄ（Ｓ１・Ｓ２・Ｄ１・Ｓ３・Ｓ４）で行う。単・複の重複はできない。また、人数が６名に満たない場合、単の最終試合から棄権とする。

①　５名での出場の場合単４を棄権とする。

② 4名での出場の場合単３・単４を棄権とする。
また、棄権はオーダー提出前に大会本部と対戦チームに報告され承認される。

（4）選手６名未満のチーム同士の対戦において、勝ち試合数が２対２の場合、引き分けとする。

（5）団体戦（リーグ戦）の順位は以下の通り決定する。
① 勝点の多いチームを上位とする。（＊勝点は、勝―2点、負－1点、棄権―0点とする）
② 勝点が同じ場合、同じ点数のチーム間での勝敗での勝点の多いチームを上位とする。
③ ①②で決定しない場合、勝マッチ数/負マッチ数の数値が大きいチームを上位とする。
④ ③で決定しない場合、勝ゲーム数/負ゲーム数の数値が大きいチームを上位とする。
⑤ 引き分けの扱いについては、監督会議で、競技委員長から詳細を提示する。

（6）個人戦は各県男女とも４名以内のエントリーとする。選手は団体戦と兼ねることができる。

（7）試合球は硬球プラスチックボール（白球で日本卓球連盟公認ニッタク）とし、主催者が準備する。

（8）団体戦・個人戦とも１１点３ゲーム先取法とする。

（9）服装は競技用の半袖シャツ、短パンであること。選手は背面にゼッケンをつけること。（Ｂ５程度の白布に上段に県名、中段に選手名、下段に学校名を記入する。 日本卓球連盟登録のゼッケンでもよい。）

(10) 個人戦のアドバイザーは、１人までとする。

(11) ペンホルダータイプのラケットは黒ラバーの場合は裏面を赤に、赤ラバーの場合は裏面を黒に塗らなければ使用できない。

(12) １日目に団体戦３～４対戦を行う。２日目に団体戦１対戦と個人戦全試合を行う。

【ソフトテニス】

（1） 競技規則は（公財）日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックによる。

（2） 団体戦出場チーム数は、各県男女各１チームとし、リーグ戦とする。

（3） 団体戦登録人数は１チーム、引率責任者１名、監督１名、コーチ１名、アシスタントコーチ１名、マネージャー１名、選手４～１０名で編成する。試合は３組対抗とする。人数が満たない場合、３組目を棄権とする。

（4） 個人戦は各県男女とも３組以内のエントリーとする。

（5） シューズはテニスシューズを使用すること。服装は連盟公認のものに準ずる。

（6） 選手は背面にゼッケンをつける。（ゼッケンのサイズはＢ５版を基準とし、白地の布に文字は黒を使用すること。上段に県名、中段に選手名、下段に学校名を記入する。）

（7） 試合球は公認（ケンコー）とする。主催者が準備する。

（8） １日目に団体戦、２日目に団体戦と個人戦を行う。

（9） 荒天時は、競技委員長・県代表男女監督・審判長等の協議の上、内容を決定する。

【柔　道】

（1）競技規則は国際柔道連盟試合審判規定、並びに（公財）全国高等学校体育連盟定時制通信制柔道専門部申し合わせ事項による。

（2）団体試合

1）試合時間は、３分間とし、勝敗の判定は、「一本」「技あり」「僅差」※1とし、得点差が無く、かつ「指導」の差が１以内の場合は「引き分け」とする。

※1「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり）がない、又は同等の場合、「指導」差が２以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。

（3）勝敗の決定方法は以下の通りとする。

（ア）勝ち数の多いチームを勝ちとする。

（イ）チームの内容が同等の場合は代表選手を任意に選出して代表戦を行う。

（ウ） （イ）で得点差が無い場合は時間無制限の延長戦（ゴールデンスコアー方式）により勝敗を決する。

（4）個人試合

1）時間は、３分間とし、勝敗の判定は、「一本」「技あり」とする。

2）得点差がない場合は、時間無制限の延長戦（ゴールデンスコアー方式）によって勝敗を決する。
延長戦は、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の差が出た時点で試合終了となる。

（5）団体試合は各県男女１チームの出場とし、リーグ戦とする。
（6）団体登録人数は引率責任者１名、監督、コーチ、アシスタントコーチ、マネージャー各１名、選手は男子５名・女子３名、補欠男女とも２名とする。選手変更は補欠選手との交代のみとし、試合ごとにオーダーの変更を認める。ただし、男子は３名、女子は２名以上から参加できる。
（7）男子個人試合は体重別３階級で行い、各県各階級４名以内のエントリーとする。各階級は６５kg級（６５kg以下）、７５kg級（６５kg超から７５kg以下）、７５kg超級（７５kg超）とする。
女子個人試合は無差別級で行い、各県４名以内のエントリーとする。（エントリーが多い場合には階級設定をすることがある）
（8）計量は、１日目１０：３０～１１：１０の間、競技会場にて行う。計量失格者は個人試合に出場できない。
（9）団体戦の出場がないため１日目に個人試合を全て行い、２日目の競技は行わない。

【剣　道】
（1）競技規則は（一財）全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則」・「試合審判規則並びに細則」及び、「全国高等学校体育連盟剣道専門部申し合わせ事項」、「暫定的な試合・審判方法」による。
（2）団体試合は、４分、三本勝負とし、時間内に勝負の決しない場合は引き分けとする。尚、リーグにおけるチームの引き分けの際はその都度勝負を決定せずに、そのリーグ終了後下記の順で順位を決める。
（イ）チームの勝ち点。（勝１点・分け０．５点）
（ロ）勝者数。
（ハ）取得本数。
イ、ロ、ハの結果勝負が決定しない場合は、代表者戦（補欠は含まない）にて決する。代表者戦において、試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に１本とったものを勝ちとする。延長戦の試合時間は、４分とする。延長戦が継続する場合は、延長戦２回ごとに休息・休憩を繰り返す。
（3）団体試合は各県男女混成の出場としリーグ戦とする。形式については参加人数により決定する。
（4）団体登録人数は引率責任者１名、監督１名、コーチ１名、アシスタントコーチ１名、マネージャー１名、選手は、男子正選手として、先鋒・中堅・大将３名補欠１名・女子正選手として次鋒・副将２名補欠１名とする。
（5）団体試合は、男女合わせて３名のみのチーム参加も可能とする。
男子３名の場合、先鋒・中堅・大将とする。
男子２名・女子１名では、男子を先鋒・大将、女子を副将とする。
男子１名・女子２名では、男子を大将、女子を次鋒・副将とする。
（6）個人試合参加人数は、各県男女各４名以内とする。
（7）試合時間は４分とし、試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に１本とったものの勝ちとする。延長戦の試合時間は、４分とする。延長戦が継続する場合は、延長戦２回ごとに休息・休憩を繰り返す。
（8）竹刀の長さ・重さは下記の規定通りとし、ビニールテープ等を用いて補強した竹刀の使用は禁止する。

男子：	４８０ｇ以上 １１７ｃｍ以内 剣先直径２６mm以上 先皮５ｃｍ以上 ちくとう直径 ２１mm以上
女子：	４２０ｇ以上 １１７ｃｍ以内 剣先直径２５mm以上 先皮５ｃｍ以上 ちくとう直径 ２０mm以上

（9）試合標識紐（紅白タスキ幅５ｃｍ、長さ７０ｃｍ）は各校で用意し、つば止め等を用い必ず固定すること。
(10) 竹刀の検量は、大会１日目、試合会場にて１０：３０～１１：３０の間に行い、合格竹刀には検印を押す。検量不合格の竹刀は、試合終了まで本部預かりとする。
(11) 前垂に名札を着用すること。
(12) 個人、団体ともに試合は１日目に行い、２日目は練習試合及び合同練習とする。

【サッカー】

（1） 競技規則は当該年度（公財）日本サッカー協会競技規則による。

（2） 出場チーム数は、各県１チームとし、トーナメント戦とする。（３チームの場合のみリーグ戦）

（3） 試合時間は前・後半合計６０分（30-10-30）とするが、出場チームが５チームの場合の３～５位決定戦は前・後半合計５０分（25-10-25）とする。時間内で勝敗が決定しない場合はＰＫ方式により次回戦に進むチームを決定する。但し、決勝戦において時間内に勝敗が決定しない場合は２０分（10-10）の延長を行い、なおも決定しない場合はＰＫ方式により決定する。

（4） 登録人数は、１チーム、役員５名、選手２０名までとする（女子の出場も認める）。

（5） 選手の交代については協会が定める「再交代」を採用する。

（6） 試合球は検定球とする。主催者が準備する。

（7） 選手は全員統一されたユニフォームを着用する。事前に登録されたものを原則とし、背番号の変更は監督者会議以降認めない。
正・副２着、異なる色のユニフォームを携行し審判によるユニフォームチェックに従うこと。但し、審判と類似色の上着を用いることはできない。
背番号は必ず登録された選手固有の番号をつけること。背番号は１から２０の通し番号とする。縦縞や、横縞の上着は識別が困難な場合のみ台地をつけること。（胸番号も付けることがのぞましい）

（8） 本大会期間中に、警告を２回受けた者は、次の１試合に出場することはできない。退場となった者は次の１試合に出場することができない。それ以降の処置については、大会の競技委員会で決定する。

（9） 選手は自分自身あるいは他の選手に危険となるような用具やその他のもの（装身具を含む）を身につけてはならない。

(10) 競技方法は出場チームにより下記のとおりとする。
①５チームの場合、トーナメント戦とする。１日目は１回戦・準決勝を行う。
２日目に３～５位決定戦と決勝を行う。
②４チームの場合、トーナメント戦とする。１日目は準決勝を行う。
２日目に３～４位決定戦と決勝を行う。
③３チームの場合、リーグ戦とし、１日目は１試合、２日目に２試合行う。
④２チームの場合、原則として１日目に行う。

１０ 出場人員（登録人数）

競　技	引率	監督	コーチ	Aｺｰﾁ	ﾏﾈ	団体戦出場枠	個人戦出場枠	備考
軟式野球	※	1	1	1	1	１８		男女
バスケットボール	※	1	1	1	1	１５		男・女
バレーボール	※	1	1	1	1	１４		男・女
バドミントン	※	1	1	1	1	５～９	各県４名以内	男・女
卓球	※	1	1	1	1	４～８	各県４名以内	男・女
ソフトテニス	※	1	1	1	1	４～１０	各県３組以内	男・女
柔道	※	1	1	1	1	男３～５補２ 女２～３補２	男子各級４名以内 女子４名以内	男・女
剣道	※	1	1	1	1	男３補１ 女２補１	男子４名以内 女子４名以内	男・女 (混成)
サッカー	※	1	1	1	1	２０		男女

※県選抜で参加の場合、引率者の数は参加校の数となる
※選手以外のベンチ入りの人数は４名までとする。

１１ 表　彰

（1） 団体戦は１・２位を表彰する。１位には優勝杯（持ちまわり）を授与する。賞状は北信越高体連会長（大・高体連マーク）北信越地区協議会会長（大）とする。
個人戦は、各競技種目１位～３位まで表彰を行う。

（2） 表彰は、競技別閉会式において行う。

（3） 前年度の総合優勝県、団体優勝校（県）は優勝旗・優勝杯を返還する。返還時にレプリカを贈る。

（4）　総合得点の最も高い県に総合優勝旗（持ちまわり）を授与する。⇒同点の場合は両県優勝とする。
（5）　競技の得点は以下のように行う。
① 団体戦のリーグ戦競技は男女混合別　県別に１位５点、２位４点、３位３点、４位２点、５位１点とし、不参加県にも５位１点を与える。
② 個人戦では１位（４点）、２位（３点）、３位（２点）、ベスト８（１点）とする。
※天候、その他の事情により競技が中止された場合、その時点で順位を決定し得点を配分する。

１２　負担金

各　県　　５０，０００円　　（各県事務局が大会事務局へ納入する。）

１３　参加料

（1）１，０００円（1人）　×　各県参加者数（選手、引率責任者、監督、コーチ、アシスタントコーチ、マネージャー）
各県事務局でまとめて令和５年９月２２日（金）までに大会事務局へ納入する。
（2）出場の辞退・棄権等による参加料の返金は行わない。
（3）団体種目において、申込締切り以降抽選日当日までに選手を追加する場合、追加選手分の参加料は各県定通専門部事務局もしくは専門委員長を通し大会事務局に納入する。

１４　宿泊

（1）　詳細については、別紙『宿泊要項』による。
（2）　宿泊申込書　→　（タイセイツアーズ）　→　大会事務局
↑↓『配宿・調整』
申込責任者

１５　参加申し込み先について

《参加校 → 各県事務局へ》
①参加申込書（団体・個人）②参加承諾書　→　①②の原本を各県事務局へ郵送し、電子データも各県事務局へメールにて送信する。

《各県事務局 → 大会事務局へ》
上記申し込み書類それぞれをまとめ令和５年７月２１日（金）までに下記大会事務局へ原本を郵送するとともに、電子データを下記大会事務局アドレスまで送信する。

１６　大会事務局　連絡先

〒930-0009　富山県富山市神通町2-12-20
富山県立雄峰高等学校　内
富山県高等学校体育連盟定通事務局　佐伯仁史　宛
Tel:076-441-4951　Fax:076-443-1695
E-mail：saeki-hitoshi@ed.pref.toyama.jp
＊大会に関するお問い合わせは当該各県専門委員長へ連絡する。

１７　組合せ抽選

令和５年８月２５日（金）に開催県事務局・各種目委員長により決定し、各県専門部委員長へ通知

１８　シード規定

団体戦　　シードなしとする。
個人戦　　シードなしとする。

１９　選手の変更について

（1）抽選日以降、大会当日までに団体戦の選手の変更（追加・抹消・変更）は、各県定通制部事務局もしくは専門委員長の承認を得た上で、所定の用紙に記入し、専門委員長会議および各競技監督者会議に提出すること。

監督者会議において参加選手を確定し、その会議の中で報告をする。それ以降の変更は認めない。また、登録変更により登録人数が抽選日以降よりも増えた場合、増えた人数分の参加料は、各県専門委員長を通じて大会事務局に納めること。

（2）個人戦出場選手の変更は、原則として認めない。
ただし、ソフトテニスのペアについては同一校の選手１名に限り認める。

（3）棄権が分かったら早急に連絡すること。

２０　北信越高等学校定時制通信制総合体育大会における個人情報及び肖像権に関する取り扱い

（1）　参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

① 大会プログラムに記載されます。

② 競技場内でアナウンスなどにより紹介されることがあります。

③ 競技会場内外の掲示板等に掲載されることがあります。

（2）競技結果（記録）等の取り扱い

① 認められた報道機関により、新聞・雑誌及びホームページ等で記載されることがあります。

② 大会プログラム記載の個人情報とともに専門部事務局が作成する大会報告書に掲載されます。

③ 優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降の大会プログラムに掲載されることがあります。

（3）肖像権に関する取り扱い

1　認められた報道機関が撮影した写真が、新聞・雑誌・大会報告及び関連ホームページ等で公開されることがあります。

2　この他、各県高等学校体育連盟定時制通信制部会の許可にもとづき、記念写真等が関係者に販売されることがあります。

（4）北信越高等学校体育連盟定時制通信制部会としての対応について

① 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。

② 参加申込書の提出により、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応させていただきます。

③ 個人情報等の掲載または公開等に関してのご質問は、各県高等学校体育連盟定時制通信制部会事務局までご連絡下さい。

２１　その他

（1）引率責任者は、団体で単独校での参加の場合、校長の認める当該校の職員とし、県選抜チーム出場校および個人戦出場校は、校長の認める学校の職員とする。

（2）監督、コーチ等は学校長の認める指導者とし、それが外部指導の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
※但し、各県における規定があり、引率・監督者がこの基準により限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。

（3）要項に規定されていない事項については、代表者・監督会議で決定する。

（4）開始式は各競技の服装としシューズを着用すること。ただし競技によってはストッキングや裸足も認める。全国大会入賞者も同様とする。

（5）各競技の優勝杯（旗）返還、レプリカ授与は当該競技の開始式においてこれを行う。

（6）競技中の疾病、傷害の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任について主催者は負わない。

（7）各競技の成績は、各県高体連定通部事務局に終了後速報を送付する。

（8）参加者全員に、記念品としてプログラムを贈る。

（9）競技時は、自分自身あるいは他の競技者に危険となるような用具やその他（装身具を含む）を身につけてはならない。また、入れ墨・タトゥ等は見えないように配慮すること。

(10) 全競技終了目標時刻を、１０月２２（日）午後2時３０分とする。